

令和6年3月30日

2023年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 社会福祉法人 三愛学園

ホーム名 三愛子ひつじ寮

代表者・役職名 氏名 理事長 高瀬一使徒

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

利用者居室・生活環境整備事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

社会福祉法人三愛学園は1976年に認可を受け、現在まで児童養護施設の運営を行っている。2019年に法人内における中長期計画を検討する中で「高齢児の行き場の確保」という声が上がリ、2020年に定員9名の自立援助ホームを開設した。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

社員寮として使われていた既存の建物を改修して利用している。「防犯や、断熱効果のために窓にカーテン・レースを付けて欲しい」「プッシュ式のドアは不具合が多く、防犯にならないので変えて欲しい」という要望がでるようになった。洗濯機も使用頻度が高くすでに買い替えの必要性が見られる。安心・安全に生活するための生活環境を整備したい。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

カーテンレールは、ホーム全体で34本。ドアノブは、利用者の居室に限り変更。合計10部屋分の変更を行う。洗濯機は、現在2台設置しているが、2台ともに買い替えの必要性が見られる。物価高騰により、当初の見積もりから値段が上がってしまったため、洗濯機は1台のみの購入として、設置する。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

各部屋にカーテンレールを設置し、カーテン・レースも用意した。今まで障子の居室だった利用者からは、「部屋の雰囲気明るくなった」と喜びの声。レースについては、全部屋に設置。今まで突っ張り棒で簡易的に付けていたため、「安心してカーテンを開けられる」との声があがった。鍵の変更については、鍵の管理意識が以前より増し、きちんと鍵をかけて外出する利用者が増えた。洗濯機に関しては買い替えにより、何度も不具合が起こるなどの不便さが解消され、利用者の生活が改善した。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

ご支援いただき、本当にありがとうございました。開設当初から、カーテン・ドアのカギについては課題とと思っていたので今回工事ができて生活環境を改善することができました。課題については、物価高騰により、当初の予定よりもお金がかかりました。壊れるまで備品(洗濯機)を使ってからという思いもあり、実施終了までに時間がかかってしまったことは反省点であり課題です。今後は環境整備だけではなく、利用者と共に自立につながる体験ができるようなプロジェクトを考えたいと思います。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。



居室内の窓枠。カーテンレールがなく、伸縮式の棒でカーテンをかけている。



居室のドアノブ。

